

創立記念大会に集った協会員



## じえじえじえ 財政黄信号

60人結集、総会で熱心な討議



協会創立記念大会・総会は12月22日(日)、市民公園で開催。コートで親睦の即席ダブルス。途中、( ) 月館で総会。総会では会長の年間総括、業務部、運営部、会計・監査の各報告を承認。財政状態は会費延滞者が多く、黄信号点滅。会長には立候補なく、高木順氏を1選。(関連記事9面に)

### 年会費忘れずにね

#### 総会で各報告承認

コートで9時開会。正午からの総会をばさんで親睦の即席ダブルスを楽しんだ。総会には本人出席60、委任20。議長に加藤徳太郎氏を選出後、高木会長が年間総括。会員数は249で微増。会費延滞が11月時点で驚きの102人。徴収は来年の課題として「延」。業務部は鈴木部長が、会報「STK」6回発行、練習会200回などを報告。運営部は稲垣部長が、練習会、旭對抗戦のほか、年間9大会開催を報告した。会計は岩崎氏が報告。会費未納による収入不足の



ラケット! 中野さん

高木会長を1選  
会長選出は高木現会長が満場一致で1選された。その他質疑の後、恒例お楽しみ福引きに移り、特等の張り上がりラケットは中野久美子さんがゲット。

状況を明らかにした。徴収に努めるが、次期繰越金は半減して15万円余。会計監査の八百山氏は「決算に相違なし」と報告。会計報告とともに承認された。

#### 【主な報告・承認事項】

- ・会長選定・協会今年の一文字=「延」(人会延期・会費延滞…)
- ・会員数=249(前年比5増)。うち新入会45。次年度退会表明27。
- ・市への要望=①平口のコート予約システムの改善=8月分から2コマ限度を実施 ②オムニ・東コートの改修=既に業者が調査
- ・体協関連=①3つのテニス教室受講者は募集の半分程度だが、リピーター増加 ②市民大会開会式に20人参列 ③瀬戸駅伝走路員に体協理事の(姦)MATCのメンバー5人を派遣。
- ・チーム活動=①会報100号記念懸賞に27作品 ②スポレク大会は予選落ち ③旭戦19勝16敗。品よく勝利 ④瀬戸駅伝欠場
- ・会報「STK」は99号から、この104号を含め6回発行。
- ・9大会、練習会28回+森林練習会1回、指導者講習会2回開催。
- ・会費納入154人。収入は前期繰越金28万円を含め178万円。支出は前期比微減の163万円弱。差引残15万円(=次期繰越金)。

延び延び市選手権

安定した「ローク」で初優勝した川西。テニスの家系長男。南山大卒。今季から参戦。市民大会混獲覇者

# 川西健太 22歳 初制覇



## 年齢の差30 下林及ばず

9月8日に降雨中断した市選手権は、9月15日、10月20日、11月10日いずれも雨。11月24日(日)に再開した。64人枠に豪華な顔ぶれがエントリした男子は、たび重なる順延で再開当日はWO(ウオーク・オーバー)が目立った。決勝は22歳の川西健太(MATC)が、54歳・下林直人(楽しいが一番)を6-1で下して初優勝。女子は30人枠に21人がエントリしたが出場は11人。若い竹山桂子(BRIO)が藤田由佳(フリー)を6-1で押し切り初優勝した。

### <市選手権 成績>

- 【男子】**  
 優勝=川西 健太(MATC)  
 準優勝=下林 直人(楽しいが一番)  
 第3位=岩成 洋平(ロング・ロング・ロング) 山崎 智夫(STC)
- 【女子】**  
 優勝=竹山 桂子(BRIO)  
 準優勝=藤田 由佳(フリー)  
 第3位=岩成育久子(ロング・ロング・ロング) 金光 康子(フリー)

※大会日程が大幅変更されたため、9月8日の敗退者・WO者を除き、11月24日が出場不能となった選手(男女計約30人)には出場料1,000円を返還しています。該当者は体育館受付窓口で名簿に基づいて返還手続きをして下さい。



男子4強 (左から)岩成、下林、川西、山崎

男子決勝は、連覇を狙う岩成に6-1で快勝した川西と、高木順、八百山に連続逆転勝ちして進出した下林の対決。初出場・川

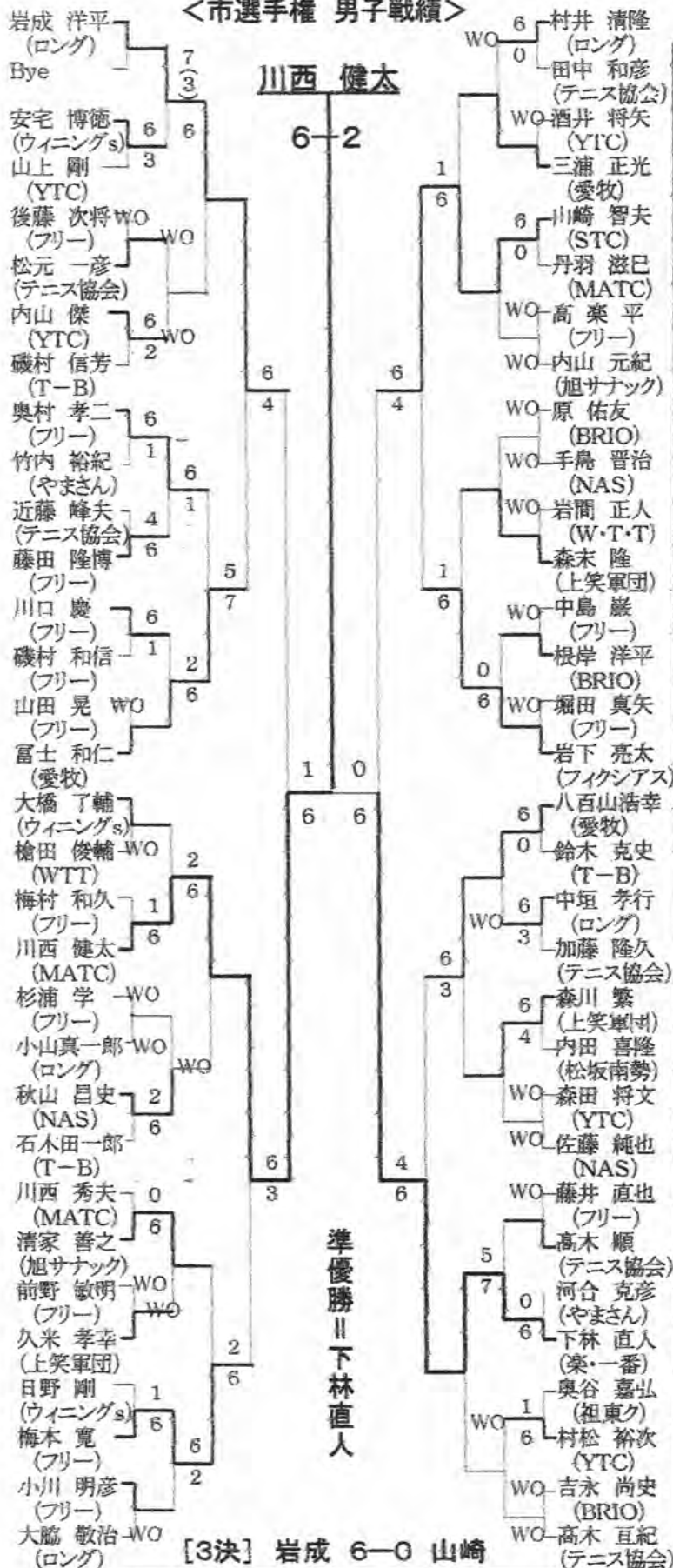


女子4強 (左から)竹山、藤田、岩成、金光

西がスピンの効いた深いストロークで下林の反撃を許さず、6-2で振り切った会心の初優勝。3位決定戦は前年覇者岩成が完勝。

◆全国選抜高校東海大会(11月・浜松)決勝 男子=四日市工3-1名経大市邸 女子=名経大高蔵3-0愛知啓成

＜市選手権 男子戦績＞



「やったよ！」初出場で初Vを果たし笑顔の竹山

# 女子は20代、竹山初V

女子は前年3位、第1シードで順当に勝ち上がった藤田と、第2シードの大脇を6-3で下した初出場での0歳代・竹山の決勝。竹山(混復大会1部準V)が巧みな配球で藤田のフォアの強打を封じた。6-1で快勝V。

士と。両者足に来ながらの1時間余の接戦は岩成の6-4。準決勝で川西に屈した岩成は3決へ。4試合・計5時間近く闘った。「足がつて途中棄権も覚悟した」と言う。さすがに疲れた表情で、夫婦仲よく「勝ち3位に苦笑い」。

## 兼音マイク

◆岩成熱闘5時間!! 堅守・根気のテニスで男子連覇をめざした岩成は初戦で安宅(春季大会複覇者)と107本ラリーを含む長時間超の長いゲーム・タイプで辛勝。準々決勝は4度目Vを狙って奥村に競り勝った富

◆男子準V・下林!! いい球打ちますね、アウトと思うと入るんですよ。3本のスマッシュが痛かった。この顔ぶれで決勝進出は上出来でしょう」

- 【年】 [男子] [女子]
- 99 菅野英男 高木 順
  - 00 菅野英男 高木 順
  - 01 日比野智之 高木 順
  - 02 M・アントニオ 高木 順
  - 03 M・アントニオ 高木 順
  - 04 M・アントニオ 高木 順
  - 05 日比野智之 高木 順
  - 06 日比野智之 高木 順
  - 07 日比野智之 高木 順
  - 08 日比野智之 高木 順
  - 09 日比野智之 高木 順
  - 10 日比野智之 高木 順
  - 11 日比野智之 高木 順
  - 12 日比野智之 高木 順
  - 13 日比野智之 高木 順

- 【年】 [男子] [女子]
- 99 菅野英男 高木 順
  - 00 菅野英男 高木 順
  - 01 日比野智之 高木 順
  - 02 M・アントニオ 高木 順
  - 03 M・アントニオ 高木 順
  - 04 M・アントニオ 高木 順
  - 05 日比野智之 高木 順
  - 06 日比野智之 高木 順
  - 07 日比野智之 高木 順
  - 08 日比野智之 高木 順
  - 09 日比野智之 高木 順
  - 10 日比野智之 高木 順
  - 11 日比野智之 高木 順
  - 12 日比野智之 高木 順
  - 13 日比野智之 高木 順

[3決] 岩成 6-0 山崎

◆名古屋グリーン・レディース11月杯団体戦優勝=SWING・HEART(近藤恵子、上本瑞美子、水木洋子、綾部みちよ)







# 村松組が初V (秋季大会)

## 女子小境・梅村も初

秋季大会は10月13日(日)市民公園A・Bで熱戦。男子1部は森田将文・村松祐次組(JC)が足立秀禎・古井裕二組(チーム愛牧)を6-4で下して初優勝。2部は吉永尚史・原佑友組(BRIO)が田中邦治・山口剛輔(T-B)を6-4で押し切り優勝。女子1部は初出場の小境陽子・梅村奈美子組(フリー)が竹山桂子・高桃子組に6-3で勝って初V。2部は五島美佐子・大脇ちとせ組(ロング・ロング・ロング)が松永明子・石塚千鳥組(フリー)を6-4で下して優勝した。コンシレも行なった。(6面へつづく)

## 足立・古井組を下す

《2013年 秋季大会 成績》

＜男子1部 参加23組＞  
優勝=森田将文・村松祐次(YTC)  
準優勝=足立秀禎・古井裕二(チーム愛牧)  
第3位=手島晋治・佐藤純也(NAS)  
久米孝幸・森末隆(常笑軍団)

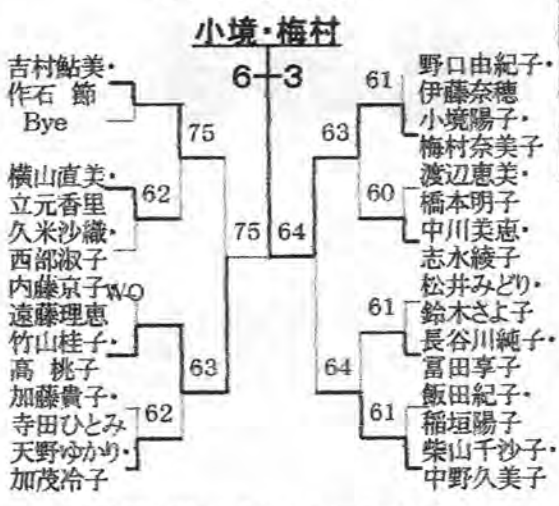
＜男子2部 参加19組＞  
優勝=吉永尚史・原佑友(BRIO)  
準優勝=田中邦治・山口剛輔(T-B)  
第3位=岡 隆司・奥村慎二(ロング・ロング・ロング)  
武藤健太郎・石川智治(フリー)

＜女子1部 参加15組＞  
優勝=小境陽子・梅村奈美子(フリー)  
準優勝=竹山桂子・高 桃子(BRIO)  
第3位=柴山千沙子・中野久美子(丸新)  
吉村鮎美・作石 節(フリー)

＜女子2部 参加8組＞  
優勝=五島美佐子・大脇ちとせ(ロング・ロング・ロング)  
準優勝=松永明子・石塚千鳥(フリー)  
第3位=岩成育久子・天野さやか(ロング・ロング・ロング)  
石川千里・中垣 恵(ロング・ロング・ロング)

※2部優勝・準優勝者は1部へ昇格。2部へは3年間は出場はできません。

### ＜女子1部 戦績＞



[3決] 柴山・中野 6-3 吉村・作石

竹山・高組が準V  
女子1部は、準決勝で前年V・第1シードの吉村・作石組に7-1で競り勝った竹山・高組と、第2シードの柴山・中野組を6-4で下した小境・梅村組の決勝。小境・梅村組が鋭い攻撃と堅い守りでリード。6-3で押し切つて初出場・初優勝を果たした。

◆準Vの高さん「もつとホレ！に出なきゃ、というのがよく判りました。長いラリーになると決断できなくて、出られないのよね」

### 『Tennis runs in our blood』 優秀賞 = 『テニス 命』 (鈴木克史)

日本女子オープン  
決勝進出 奈良 2度目

ストーサー 2度目V

＜準決勝以降＞

|        |     |     |     |
|--------|-----|-----|-----|
| ストーサー  | 6-1 | 3-6 | 6-5 |
| キーズ(米) | 6-2 | 7-5 | 6-2 |
| 奈良くるみ  | 6-2 |     |     |
| ブシャール  | 6-2 |     |     |

◆奈良は『好打しても相手の位置取りが早かった。見習いたい。点を取りこく時にいいプレーが必要だ。世界の上位と戦うと、日本のテニスを盛り上げたい気持ちが強くなる』

日本女子オープン(10月13日)まで大阪、単はストーサー(豪)がブシャール(カナダ)に逆転勝ちして2度目の優勝。複はマダナビッチ(仏・ベネタ(伊)組が初V。単の日本勢は1回戦で奈良くるみ(写真①)がガルシアに、昨年4強の土居美咲(写真②)がソレシエ・ヒフサス(ペイン)に、伊達公子が第1シードのロフソン(英)にそれぞれ勝った。

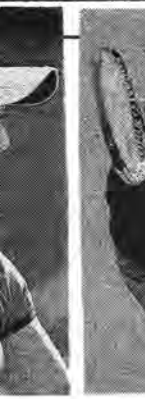
奈良は2回戦で格上の世界48位・ブイグ(フネルトリ)に7-6、7-5で競り勝ち、土居と伊達の



古井(後右)

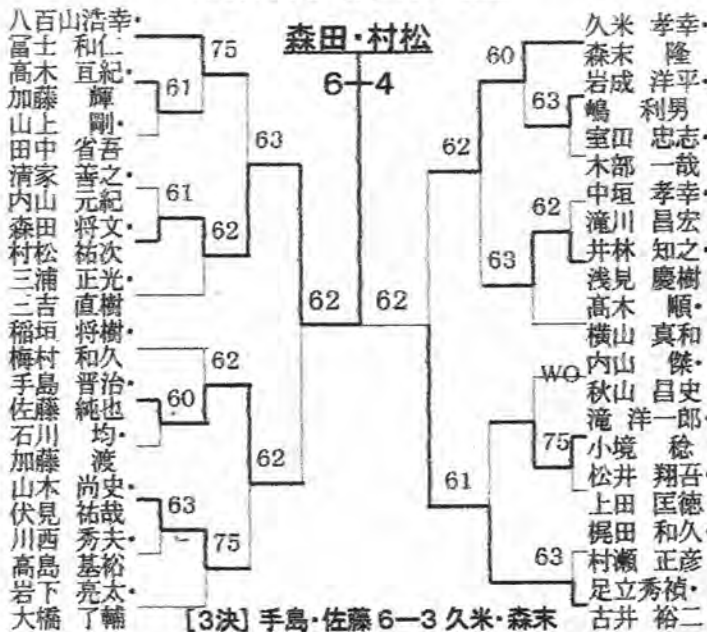


梅村(後右)



奈良(後右)





# 森田将



男子1部初優勝の森田・村松組(前左)、準優勝の足利組(前右)、3位の手島・佐藤組(後左)と久米・森末組



女子1部初Vの小境・梅村組(前右)、準Vの竹山・青野組(前左)、3位の柴山・中野組(後左)と吉村・作石組(後右)

## ヤオフジ5度目V夢敵

男子1部は強豪ぞろいの23ペアが激闘。第1シードの八百山・富士組は5度目の優勝をめざしたが、準々決勝で森田・村松組に屈し、夢は散った。森田・村松組は準決勝の手島・佐藤組との強打戦も6-2で制し、決勝も前年3位で今年初Vを狙った第2シードの足立・古井組を6-4で押し切り、うれしい初優勝。

## 表彰式途中、「あああつ!

足つた!」と初Vの森田が苦悶。あわてて自分で足指を伸ばす。授与されたメダルを落として一幕も。感想を聞かれて、パートナーの村松とともに、「いやあ、苦しいゲームの連続で疲れました。でも楽しい試合をありがとうございました。」と王者のスピーチ。

- 【女子】
- 千鶴 藤井友紀子
  - 時高木淳子
  - 川純子 長坂有希子
  - 高木淳子 江口ひとみ
  - 石川久美子 大島千沙子
  - 長谷川純子 高木淳子
  - 松原由布子 高木淳子
  - 高木淳子 松原由布子
  - 高木淳子 松原由布子
  - 山久美子 柴山千沙子
  - 小崎さくら 川口綾
  - 吉村鮎美 作石節
  - 小境陽子 梅村奈美子

- 【男子】
- 田中 稔 慶 順
  - 川口 道助
  - 高木 広礼
  - 野英 高島 一
  - 加藤 高木 和
  - 加藤 高木 史
  - 八元 幸 和
  - 竹元 幸 和
  - 八百山 幸 和
  - 八百山 幸 和
  - 八百山 幸 和
  - 八百山 幸 和
  - 森田 幸 和

### 会報100号記念『Tennis runs in our blood』名訳 秀逸賞=『私たちテニス族!』(水木洋子)

8強入り争いは土居の7-6、6-4。対伊達4戦目で初勝利。「伊達さんに勝つことは大きな目標でした」と上居。「私と競ってる場合じゃない」と伊達は例の辛口激励。準々決勝、足で勝負する158センチの奈良は、182センチのヘルツォークと対戦。7-6、2-6、6-1で勝つてツアー初の4強入り。「まさかこゝまで来られるとは。体がよく動いたのが勝因」と奈良。土居は第3シードのストロサーに1-6、6-3、3-6で惜敗。準決勝、奈良の相手は第5シードの19歳フシヤール。ストロークはほぼ互角に打ち合い、再三好打を放つたが、それを上回る切り返しに遭い、2-6、2-6で屈した。21歳奈良、22歳土居、同年のライバル。次代を担う若手2人の活躍が目立った。

森田あゆみは腰痛を抱えて初戦完敗。昨年度で優勝・複準優勝のワトソン(英)も1回戦で敗れた。

土居・宮村組 決勝進めず

複は土居美咲・宮村美紀組が初戦に勝ち8強。相手体調不良の不戦勝で準決勝に進んだが、第2シードのマダナベッチャ・シネット組に2-6、4-6で敗れた。

伊達公子(スウェーデン)・シメイズ(南ア)組は1回戦で第1シードのコップス・ジョーンズ・スピアーズ組(米)に敗れ青山山修子(近藤乳葉)・張凱貞(台湾)も初戦敗退した。



男子部  
2部

吉永・原組



女子部  
2部

五島・大脇組



男子2部Vの吉永・原組(前右)、準Vの田中・山口組(前左)、3位の岡・奥村組(後左)と武藤・石川組(後右)

女子2部Vの五島・大脇組(前右)、準Vの松永・石塚組(前左)、3位の岩成・天野組(後右)と石川・中垣組(後左)

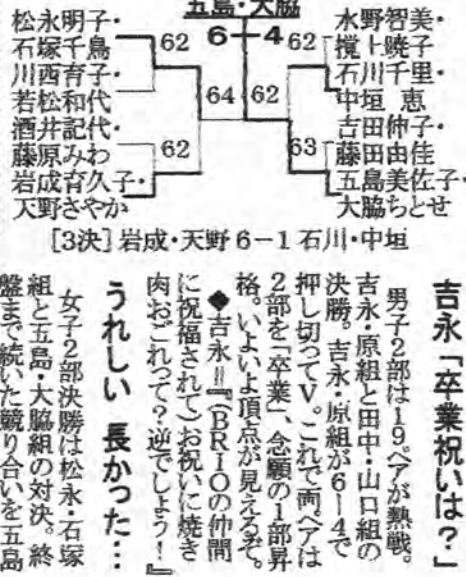
<秋季大会 男子2部 戦績>

田中・山口組に競り勝つ



<秋季大会 女子2部 戦績>

五島・大脇



吉永「卒業祝いはいは？」

男子2部は19ペアが熱戦。吉永・原組と田中・山口組の決勝、吉永・原組が6-4で押し切ってV。これで両ペアは2部を卒業、念願の1部昇格。いよいよ頂点が見えるぞ。◆吉永「BRIOの仲間」に祝福されて「お祝いに焼き肉おこれって？逆でしょう！」

うれしい長かった！

女子2部決勝は松永・石塚組と五島・大脇組の対決。終盤まで続いた競り合いを五島

錦織、パリ大会で今季終了 「一番いい年だった」



最終戦、ガスケに闘った錦織

錦織圭はマスターズ・パリ大会2回戦でツォンガに逆転勝ち。3回戦、ガスケに敗れて今季ツアーを終了(10月31日)。トップ10入りはできなかったが、6月の1位が最高。これまで一番いい年だったと振り返った。今季は全豪、全仏で4回戦進出。5月にはフエテラーを破る金星。ラックは昨年終了時と同じ19位だが、「強い相手に勝てた。もう少しパワーをつけたい」という。来季の初戦は全豪前哨戦、2月末のブリスベン国際。来季は今季の上をいきたい。いいスタートが切ればチャンスは来ると決意新た。来季は、あのマイケル・チャン(米)をコーチ陣に迎え、主にメンタルトレーニングを受ける。◆ナダル1位奪回 10月7日付、男子世界ランクで錦織は前週より5つ下がって18位。中国OP準優勝のナダルが、優勝のジョコビッチを抜いて2011年以降の1位を奪回。この「逆転の怪」、なぜでしょう？

五島・大脇が6-1で制した。◆五島・大脇組「うれしい！過去、準決勝は何度行ったことか。道のりは長かった。勝因？サーブはシヨボイし、拾ってつないだことかな。最後は緊張した。相手も同様だったのだから。これまでもとてつないだことありまして。錦織君と1時間打った成果でしょう。1部？もう勝たなくてもいいです」

松永組「緊張で打てなかった」◆松永・石塚組「チャンスは十分あったのに…最後は守りに入ったのかな？硬くなって打てなかった。優勝して1部へ行きたかった」



# 今後の行事日程

★協合理事会・親睦大会  
年2月16日(日)午前11時～13時＝  
体育館会議室で理事会。13時～17時  
＝Aコートで親睦の即席ダブルス。

★春季テニス教室  
3月2、9、16日の日曜3回。市民公園  
A。午前9時～午後1時。瀬戸市在住・  
在勤者・協会員・学生もOK。先着60  
人募集。参加費＝1人4,500円。受付  
＝2月3～19日。予備日＝3月23日。

★第29回 瀬戸地方高校生大会  
3月24日(月)、25日(火)午前7時～午  
後5時。市民公園A・B。瀬戸市近郊の  
高校生。単複団体戦。参加費＝1チー  
ム3,000円。学校関係者に案内。予備  
日＝3月26日(水)

## 瀬戸信で振込みできます

継続会員の方は年会費3,000  
円を忘れずに納入して下さい。瀬  
戸信用金庫での振り込みもご利用  
ください。

店番008＝共栄支店 口座番  
号0269862 瀬戸市硬式テニス  
協会

手数料がわかる場合があります。  
※振り込み手数料＝共栄支店口  
座への共栄支店窓口での振り  
込みは無料。本店または他支  
店窓口での振り込みは315円。  
共栄支店でのATMでの振り込  
みは無料。本店または他支店か  
らのATMでの振り込みは手数  
料105円が必要です。

## 会費未納で大会出場＝14人

年会費未納者が多いことが判明した11  
月以降、未納の協会員に納入の督促をし  
ているが、協会資料では、大会に無料出  
場しながら年会費未納者が14人いる。来  
26年度は退会しようと思っている人を含  
む人数だが、それでも今年度分の年会費  
3,000円は納めてもらいたいよね。



レディースビギナー大会を制した松永・鈴木組(前右)、準優勝の春田・  
山内組(前左)、3位の横山・北川組(後右)、4位の吉川・横山組(後左)

# 松永・鈴木組 歓喜のV

レディースビギナー大会

第7回レディースビギナー大会  
は10月2日(水)市民公園Aで  
午前9時から開催。出場4ペア  
うち今年のレディース教室修了  
者が3組。4ペアの総当たりリ  
グ戦(各ペア3戦)。4ゲーム先取  
(ブレイクあり)で優勝を争った。  
慣れないセルフジャッジ、カウ  
ントコイルに戸惑いながら、ゲ  
ムナーやコートマネージャーも  
頑張った。50分近い激闘も、懸命に  
ボールを追ってファイナルプレーも  
続出。好ゲームを展開した。  
松永・鈴木組がレディース教室  
とその後練習成果を発揮。安  
定したサーブと動きのよさでV  
優 勝 松永亜紀・鈴木悦子組  
(フリー) 3勝0敗  
準優勝 春田巳恵・山内智子組  
(協会) 2勝1敗  
第3位 横山優子・北川恵美組  
(フリー) 1勝2敗  
4位 吉川里菜子・横山小百  
合組(フリー) 0勝3敗

《レディースビギナー大会》  
女性初心・初級者向けダブル  
ス大会。2007年創設。春季教  
室、レディース教室、ナイター  
教室の受講者ら対象。水曜開  
催のレディース教室に合わせ水  
曜実施。第1回は10組参  
昨年は参加少なく、お流れ。優  
勝ペアは、同一パートナーでは  
再出場できない。この大会から  
巣立って活躍中の選手も多い。  
本格女子ダブルスへの登竜門。

候補最右翼の春田・山内組に4  
13で競り勝つて2勝。3戦目を  
残して首位が2勝1敗で並ぶ可  
能性もあったが、松永・鈴木組が  
第3戦も4-2で押し切り、3戦  
全勝のV。3位は横山・北川組。  
表彰式では3位までに金、銀、  
銅メダルと賞状、賞品。4位に歯  
ブラシなど「磨く」賞品を贈った。  
最近2-3年のレディース教室  
受講者はグループを作って週1、  
2回の練習を続けている。これも  
「延」秋のビギナー大会は勿論、  
春季、秋季大会出場をめざす人  
も出始めている。「出よ！新星」

「国体」愛知選手団監督 宮尾英  
俊(名古屋高)、小林誠一(誉高)▽成  
年男子 山田晃大(法政大)、西尾  
一馬(了良東海)▽成年女子 西尾  
友里(東海学園大)、能登美穂(中京  
大)▽少年男子 小林雄太(名古屋  
高)、千頭昇平(寺山西中)▽少年女  
子 大矢希、宮田みほ(名経大高蔵)

## 国体成年男子4位 少年女子も健闘6位

東京国体の県勢は成年男子が1回  
戦、徳島2回戦、神奈川に準2勝し  
準々決勝の対兵庫。山田哲哉、西尾  
辛勝の後、複を8-16で制して4強  
入り。準決勝で東京に山田7-9、  
西尾6-8で惜敗した。3位決定戦  
では愛媛に敗れて4位。  
成年女子は1回戦・静岡に0-2。  
少年男子は2回戦・静岡に下項辛  
勝、小林哲哉、複5-8で敗退。  
少年女子は2回戦・香川、3回戦・  
茨城に準2勝。準々決勝で東京に大  
矢5-8、宮田8-4の後の複を6-  
8で競り負けて5-8位戦へ。岐阜に  
勝つて5、6位戦は千葉に敗れて6  
位となった。

《この大会 歴代優勝ペア》  
第1回 07年 三浦牧子・花本葉子組  
第2回 08年 松垣利恵子・東 静香組  
第3回 09年 荒川由香里・手嶋敦子組  
第4回 10年 荒川由香里・伊東陽子組  
第5回 11年 西 美子・片岡里佳組  
第6回 12年 <参加少なく流れ>  
第7回 13年 松永亜紀・鈴木悦子組

◆Vペア松永・鈴木組の話＝「勝因？何  
でしょうね。相手のダブルフォルトに助  
けられて…。3度も転びました(鈴木)が  
返そうと思って必死でした。力を出し尽  
くしました。賞状なんて感激です。額、  
買ってきて飾らなくちゃ！」

# 高校学年別大会



(左から)1年男子単優勝の樽見、準優勝の水野、3位の永井、浅野

第3回瀬戸地方高校生学年別大会は1月2日(土)、4日(月)の2日間、市民公園A・Bで開催。1年生、2年生の男女別単複の8部門、計238人が参加した。初日はほぼ4決めまで、4日にコートの水を掃いて準決勝以降を行なった。2年生男子単は藤田遥(瀬戸西)が夏の新人戦に続いて連覇、手違いのため決勝と3位決定戦は行なえず、棄権扱

## 2年男子単・藤田(瀬戸西) / 女子・今枝(カピタ)



新人戦に続いて2年男子単を制した藤田(○)と3位・鈴木(●)



1年男子複優勝の西・寺西組(左)と3位の松本・小林組(右)

## 1年男子単は樽見(栄徳)

いとし、3位は鈴木拓実(長久手)。同復は政田康貴・須山祐季組(栄徳)が深見杉浦組(瀬戸西)を下して優勝。1年生男子単は樽見真臣(栄徳)が水野慶司(長久手)を下してV。同復は西航人・寺西航輝組(瀬戸西)が安彦・島倉組(旭野)に辛勝してV。



(左から)1年女子単優勝の佐々木、準優勝の大島、3位の西川、佐藤



1年女子複優勝の加藤・山田組(前左)、準優勝の松岡・後藤組(前右)、3位の神谷・久保田組(後左)と伊藤・大河内組(後右)

## 女子・佐々木(瀬戸北)

女子はBコートで熱戦。1年単決勝は新人戦の再現。佐々木結友(瀬戸北総合)が大島早紀(聖霊)のリベンジを許さず優勝。同復は加藤・山田組(聖霊)がV。2年女子単は今枝佑紀(聖カピタニオ)が幸島叶実(旭野)を下して優勝。同復は石田・加藤組(旭野)が原・大島組(聖カピタニオ)に勝って優勝した。



2年男子複優勝の政田・須山組(前左)、準優勝の深見・杉浦組(前右)、3位の山田・岡崎組(後右)と伊藤・平林組(後左)



(左から)2年女子単優勝の今枝、準優勝・幸島、3位・河合、水野



2年女子複Vの石田・加藤組(前左)、準Vの原・大島組(前右)、3位の森・平松組(後)

### 《高校学年別大会 成績》

- <1年男子単>  
優勝=樽見 真臣(栄徳)  
準優勝=水野 慶司(長久手)  
第3位=永井 大州(長久手)  
浅野 碩斗(長久手)
- <1年男子複>  
優勝=西航人・寺西航輝(瀬戸西)  
準優勝=安彦友貴・島倉太一(旭野)  
第3位=加藤直人・澤田大和(旭野)  
松木康孝・小林諒佑(長久手)
- <1年女子単>  
優勝=佐々木 結友(瀬戸北総合)  
準優勝=大島 早紀(聖霊)

- 第3位=西川海音(あお・聖霊)  
佐藤真裕(まゆ・聖カピタニオ)
- <1年女子複>  
優勝=加藤・山田組(聖霊)  
準優勝=松岡・後藤組(旭野)  
第3位=神谷・久保田組(栄徳)  
伊藤・大河内組(旭野)
- <2年男子単>  
優勝=藤田 遥(瀬戸西)  
準優勝=中山 孝一(栄徳)  
第3位=鈴木 拓実(長久手)  
西村 春希(栄徳)
- <2年男子複>  
優勝=政田康貴・須山祐季組(栄徳)

- 準優勝=深見健斗・杉浦 航組(瀬戸西)  
第3位=山田竜輝・岡崎由弥組(長久手)  
伊藤 亮・平林新一組(瀬戸西)
- <2年女子単>  
優勝=今枝 佑紀(ゆき・聖カピタニオ)  
準優勝=幸島 叶実(かなみ・旭野)  
第3位=河合 美奈(旭野)  
水野 叶夢(かなむ・聖霊)
- <2年女子複>  
優勝=石田・加藤組(旭野)  
準優勝=原・大島組(聖カピタニオ)  
第3位=森・平松組(旭野)  
橋・結方組(瀬戸西)

# デルポトロ初V



ラオニッチを下して初優勝したデルポトロ

## ジャパンオープン 錦織 4強ならず

ジャパ・オープン(10月6日)まで東京有明、単は連覇を狙った世界13位・第4シードの錦織圭が準々決勝でアルマグロに敗退。世界7位・第1シード・デルポトロ(アルゼンチン)が決勝で第3シードの世界11位・ラオニッチ(カナダ)に競り勝って初優勝。複はポ・パン・ロ・シルバセラ組がアン・デイ・マリーの兄ジェイミーのペアを下して初V。



錦織ガックリ。準々決勝でアルマグロに敗れる

◆ファンマルティン・デルポトロ(21歳)。今季3勝目。ツアー16勝目で賞金約3000万円を獲得。



単決勝はデルポトロが第1セットをタイブレーク奪い、第2セット5-5後の第1ゲームをブレークし、押し切った。日本勢で期待の錦織は初戦で26位・メルツァー(オーストリア)に冷や汗。6-7、7-5、6-2。第2セット2-15からの大逆転だった。『正直、終わった、と覚悟した。1ゲームずつ、ミスなく返して、こうと切り替えた。』2回戦、対ロ・ベス・ベイン。7-6、6-0で突破。伊藤

錦織・内山組 手応え 錦織は米アカデミーの後輩・内山と初コンビで複にも挑戦。1回戦で全英準優勝のド・ディグ・メロ組に4-6、1-6で敗れた。第1セットは動きがよく、内山も不得意な後衛から巧打を放ち、ほぼ互角に戦った。錦織はワンチャンスをもにされた。相手のセカンドサーブを叩いて、つけたのはよかつた」と納得顔。

の仇をとって8強入り。『きつちり攻めて、いけた。ここで喜んではいられない』準々決勝は17位・第6シードのアルマグロス(ペルー)。第1セット5-4からのサーブミスで落とされ、タイブレークも失う。第2セットを奪い返したが、長引いてファイナルは持病の腰痛が悪化。治療タイムを取ったが回復せず3-2から4ゲームを連取された。『腰が痛くて...。第1セットで凡ミスが減らして取つていれば...。よくやったと自分には言いたいが、結果が全てですから...』と、敗退の弁。

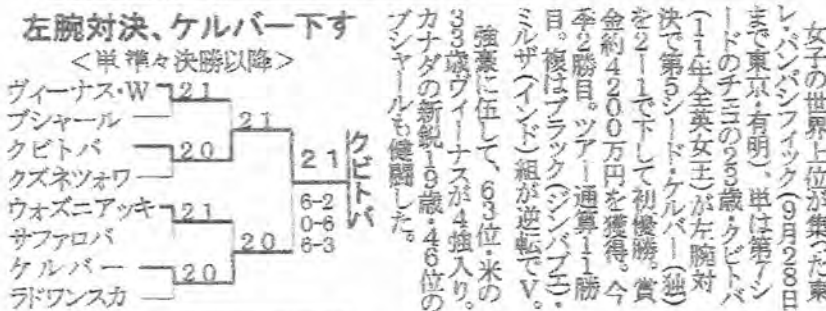
添田素は初戦、ラオニッチに善戦。が、4-6、6-7。『相手サーブが速く正確でブレークチャンスが多かった』伊藤竜馬はロ・ベスに6-4、5-7、3-6の惜しい逆転負け。杉田祐一はド・ディグに3-6、1-6で敗れた。複の錦織・内山靖崇組、添田・伊藤組はともに初戦で敗退。第1シード・ブライアン兄弟が初戦負けは意外。

## 「東レ」はクビトバ



両腕を突き上げて喜ぶクビトバ ◆クビトバ『最後は手が震えた。大きな大会で勝ててうれしい』

女子の世界上位が集った東京レバンパシフィック(9月28日)まで東京有明、単は第1シードのチエリ・クビトバ(11年全英女王)が左腕対決で第9シード・ケルバー(独)を2-1で下して初優勝。賞金約4200万円を獲得。今季2勝目。ツアー通算11勝目。複はブランク(シンパズ)・ミルザ(インド)組が逆転でV。強豪に伍して、63位・米の33歳ウィーナスが4強入り。カナダの新鋭19歳・46位のブシヤールも健闘した。



日本勢は単複ともに2回戦までで姿を消した。森州あゆみは腰痛を抱え、1回戦の日英ペア対決で38位・ロフソンを破ったが、2回戦でアン・コリツに敗れた。伊達公子は初戦相手途中棄権。2回戦でベスト1サーに惜敗。上原美咲は1回戦を逆転勝ち。2回戦でチルステアに完敗。全米未活躍した奈良良くるまは1回戦逆転負け。予選上がりの尾崎里紗は初戦で彭帥に完敗した。複の伊達組、青山修子組はともに初戦で敗れた。

《質問》伊達の2回戦、対ストサー。第2セットのタイブレーク、伊達のダブルフォルトに観客「あー」との声。伊達は「たの息切っちゃー」と叫んで観客「あー」への不満を訴え「観る方のマナーが上がらな」と舌打ち。伊達の発言と観客の「あななどう思いますか。(近藤)

◆来年以降も開催し継続が危ぶまれていた東レ・パンパシは来年以降、移行が下がり、開催を1週間早めて9月の第3週。



# テニスの秋満喫

「体育の日」は毎年、協会主催の森林公園練習会。秋季大会翌日の10月14日、午前9時から午後5時まで、ハードコート3面、汗を流した。タオル即売の「田中屋」も出店。場所探しに迷った人もいたが協会員と「お話しさん」約30人が集い、紅葉を始めた周囲の木々の中、ゲーム、レッスンを腕を磨き、テニスの秋・食欲の秋を満喫。午後は人数が減り、雨激過多状態だった。



## 『東京五輪』私の思い出④

「2020年、東京五輪再び」——半世紀前・1964年の前回東京五輪の記憶を年配の協会員たちに語ってもらった。

### バトツ 女子バレーと円谷

- ◇K・Hさん＝『マラソンの円谷だね。2位かと思ったら抜かれて銅、ゴールして倒れ込んだね。アベベは靴履いてたか？「まだ走れるよ」と半周余分まで歩いて体探してたね』
- ◇M・Hさん＝『当時私バレーやってたので、やっぱり女子バレーの金ですよ。東洋の魔女。回転レシーブ、拾ってつないで。鬼の大松監督は大会後、女子選手の婿さん探しに走り回ったり…偉かったですよ』
- ◇M・Mさん＝『アララで死にそうになって帰ってきた円谷。よく頑張ったね』
- ◇H・Nさん＝『女子バレー決勝。家族そろってテレビにかじりついて応援しました。円谷の同僚・君原はその後、いつも後ろに注意して走るようにしたそうですよ』
- ◇K・Mさん＝『女子バレー。会社の寮のテレビを見てました。河西は五輪後すぐ自衛官と結婚したんじゃないかなかったですか？』
- ◇M・Jさん＝『マラソン・銅の円谷。競技場内で抜かれて…その後の事件(自殺)もあったし、カオスなそうだったね』

## 新星・ブシヤール



カナダの19歳ウー・ブシヤールは注目の新星だ。世界46位。東レ3回戦で元女王キヤンコビツチを倒し、準々決勝でウイ・ナスに惜敗。昨年は全英シニア単複を制したが世界ランクが低く、東レ出場のため来日したものの予選にも出られなかった。今季は4大大会3回戦までラックも上がり本戦ストレートイン。日本女子OPでも準決勝でストーサーに逆転負けしたが準優勝の活躍。金髪の美人でシヤポワと比較される。本人は尊敬する偉大な選手と比べられるのは光栄と無難な答え。

## 愛知8強ならず

全国レディース

全国レディース決勝大会(東京)で前年優勝の愛知は3回戦で福井に1-2で敗れ8強入りを逃した。東京Aが下巻を下し3年ぶり9度目のV。3位・神奈川、4位・茨城と関東勢が独占。

## 金の「河西主将」死去

中村昌枝(旧姓河西)さんが10月3日、脳出血のため都内の病院で死去。80歳。東京五輪金・女子バレー。



名セッター「河西」

チームのキャプテン。当時31歳。山梨・巨摩高、日紡足利、日紡貝塚。「鬼の大松」のスパルタ特訓に率先して耐えた。根性主将。欧州遠征、世界選手権、日本の活躍を外国紙が「東洋の魔女」と称賛。五輪翌年に結婚。08年、世界バレー殿堂入り。

## ダブルス 勝てるコツ

- ②テイクバック時に上半身の力を抜く＝腕、肩の力みのために重心が浮いてスイングを手打ちにしています。足は踏ん張り、手首、腕、肩の力は抜きましょう。
  - ③スイングを思い切って大きくする＝その結果、1~2球ミスしても、迷いがなくなって本来のスイングを取り戻し、その後挽回すればいいのですから。
- ※緊張、不安の要因は練習の裏付けのなさです。今の力量を出し切るしかありません。勝敗は単なるその結果です。負けたらまた練習。チャンスは何度でもあります。

- ◆よくなってラケットが振れない＝リラックスの方法
- 緊張で縮こまり、ラケットがうまく振れない、芯に当たらない、いつもと違う…で、ミス連発。こんな時、「ネットに当たらない、アウトしたくない」と思ってしまうのですが、ますます本来のスイングができなくなり、余計にミスが増える悪循環に陥りやすいもの。リラックスするお奨めの方法を3つ。
- ①息を吐きながら打つ＝テイクバックからフォロースルーにかけて大きく長く息を吐きながら打ってみよう。

## 会報「STK」

業務部発行。1998年に本格創刊。原則隔月。第10号まで榎田俊幸、以降は近藤峰夫が編集を担当。部数約200。協会員に無料郵送されるほか読者多数。

◆STK会員募ります◆  
瀬戸市テニス協会(STK)は会員を募集中です。初年度入会金1000円、年会費3000円。1年次年度からは入会金のみ。市内在住に在籍者は年会費免除。大会出場料が原則無料。4月4日の協会練習会、年2回の森林練習会に参加OK。市外の方も初年度4000円で入会できます。

## あつちの噂

○「秘密法成立。都知事辞職。楽天・マイ君レノ、打撃の神様。川上哲治死去。人生いろいろ。尾倉千代子、西武の総帥。堤清二、アラビアのピレンスのピーター・オートワールも逝く。

○公報104号。事情で遅れ増員して全面的に作り直し。苦勞しました。今年も全日程終了。来年は飛躍の「馬」。

○瀬戸駅伝。STKは火場。昨年の記録56分05秒は今年14着に相当。入賞6位。49分03秒。78分差。STK女子としても来冬を期す。

○デモはアロ？練習会常連。組むチーム「R会だ」の「R」は練習会のR。テロリストじゃない。デンジャラスな名だが「デンジャラス」は「上位」として要注目の下位選手との意。団体戦に2チーム出そうぞ。また4月から頑張りましょう。(近藤)

《次号は3月末》